

令和6年度鳥取県孤独・孤立に係る県政参画電子アンケートに ご協力頂いた皆様へ

「ひきこもり状態の人に対する関わりに影響を及ぼす要因の検討」 について

はじめに

鳥取大学臨床心理学講座竹田研究室では、誰もが安心して弱さを表せる地域社会について研究を行っています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究は、ひきこもり状態の人に対する住民の関わりに影響を及ぼす要因を明らかにすることを目的としています。そのため、2024年9月に実施した令和6年度鳥取県孤独・孤立に係る県政参画電子アンケートに回答いただいた方の回答内容から情報を集めさせていただき、「ひきこもり状態の人に対する関わりに影響を及ぼす要因」を調査します。

すべての情報は、鳥取大学臨床心理学講座竹田研究室で集計されます。また、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる方は、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

研究の対象となる方の回答内容から、以下の項目を集めさせていただきます。

- 日々の状況
- 自身の価値観
- ひきこもり状態に対する印象
- ひきこもり状態の人の有無
- ひきこもり状態になるきっかけについての印象
- ひきこもりという言葉から浮かぶ年齢層
- ひきこもりに関する考え
- ひきこもり状態の人への関わり
- 生きやすい社会とは
- 基本属性（年代、性別）

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2026年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

皆さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。皆さんの情報は、上記で挙げた項目だけですので、私の研究室には個人が特定される情報は伝わりません。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた皆さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、ひきこもりを抱えた人が暮らしやすい地域づくりをはじめ、誰もが穏やかに暮らすための地域共生社会の実現に向けて有益となる可能性があります。

不利益・・・アンケートからの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく皆さんの情報が、居心地よい地域社会に向けた重要な情報をもたらす可能性があります。このため、皆さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する研究機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、皆さんの個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

本研究で使用するアンケートは無記名で個人を特定することが難しいため、情報を個別に削除することはできません。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、トヨタ財団2023年度研究助成（助成番号：D23-R-0045）で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、皆さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に皆さんの個人情報が明らかになることはありません。

10.知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11.問い合わせ窓口

本研究についてのご質問は、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

竹田 伸也 鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座 教授

〒683-8503 鳥取県米子市西町 86

TEL：0859-38-6411

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)